

とっておきの新居浜検定 問 題 用 紙

(午後1時30分開始 制限時間60分)

第15回 中級

注 意 事 項

1. 解答用紙の記入にあたっては、HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシルを使用する。
2. 解答はすべて答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。
3. 【 】にあてはまる語句を答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

令和6年11月10日(日)

新 居 浜 商 工 会 議 所
新居浜検定事業運営協議会

(問題1)

市の花は「つつじ」、市樹は「くす」ですが、市制施行何周年を記念して選定されたでしょう。

(問題2)

昭和12年11月3日、【問題2】の3カ町村が合併して人口32,254人の新居浜市が誕生しました。

(問題3)

大生院を流れる渦井川の上流にあり、市指定名勝にもなっている、落差約30mの滝の名前を書いてください。

(問題4)

銅山峰に群生し、5月中旬から6月初旬にかけて薄いピンク色の花が咲くツガザクラは、何科の植物でしょう。

(問題5)

別子ラインは、主として国領川上流の小女郎川の清流がおりなす、約何kmの溪谷景勝地でしょう。

(問題6)

昭和47年に太鼓台の謡(うた)として作られた、都はるみが歌っている曲の題名を書いてください。

(問題7)

雲を表すとされる太鼓台の部位を何というでしょう。

(問題8)

布団締め龍の立体刺繍は立龍で、「阿龍・吽龍」「雄龍・雌龍」「昇龍・降龍」【問題8】と諸説があります。

(問題9)

新居浜太鼓祭りを無事故で明るい平和な祭典とするための全市的な取り組みを図るため、各地区太鼓台運営委員会(協議会)を含め市内各界からの代表者によって組織された会があります。その会の名称を書いてください。

(問題10)

平成5年(1993年)、愛媛県を代表する伝統文化行事に新居浜太鼓祭りが選定され、シンガポール最大の祭典「第21回チンゲイ・パレード」に【問題10】太鼓台を派遣しましたが、太鼓台派遣事業として初の海外派遣となりました。

(問題11)

大正元年(1912年)、鷺尾勘解治が旧別子の風呂屋谷で社屋を借り受け、開いた私塾の名称を書いてください。

(問題12)

別子銅山開坑直後、鎮護の神として大三島にある大山祇神社より勧請され、旧別子地区の延喜の端に建設され、昭和3年に生子山麓に奉遷された神社の名称を書いてください。

(問題13)

マイントピア別子の観光坑道は、旧【 問題13 】跡を利用した延長333mの坑道です。

(問題14)

別子銅山開坑の約50年前の寛永年間(1624～1643年)に発見され、採掘されたと言われている、別子銅山と同一鉱床の銅山の名称を書いてください。

(問題15)

端出場水力発電所の発電は、発電所上部の山からの有効落差を利用して行っていました。当時、東洋一だったその落差は、約何mあったでしょう。

(問題16)

明治38年(1905年)に別子銅山の坑水路兼道路橋として架設されたアーチ橋で、日本に現存する唯一の明治の鋼アーチ橋の名称を書いてください。

(問題17・18)

明治7年(1874年)に広瀬幸平が雇い入れたフランス人鉱山技師【 問題17 】は、翌明治8年、別子銅山の近代化を図るための報告書【 問題18 】をまとめました。

(問題19)

別子山中で、製錬された荒銅を大坂へ送るための玄関口となった場所の名称を書いてください。

(問題20)

別子銅山で、明治26年(1893年)に日本初の山岳鉱山鉄道として開通した上部鉄道は、【 問題20 】から石ヶ山丈の間、約5.5kmを結びました。

(問題21)

別子銅山で初めての物資輸送トンネルとしてつくられたのが【 問題21 】です。このトンネルの完成により、銅山越えをする必要がなくなるなど近代化を進める原動力となりました。

(問題22)

住友林業が建設して管理するフォレスターハウスは、住友家2代目総理事である【 問題22 】の大造林計画の発祥地に、平成5年(1993年)11月にオープンしました。

(問題23)

昭和6年(1931年)6月に完成した昭和通りには、昭和橋・【 問題23 】・共存橋・共栄橋の4つの橋が架かっています。

(問題24)

別子山中から新居浜への物資輸送の中継基地である立川中宿前に架けられた橋で、別子銅山せつとう節にもうたわれた、花崗岩造りの【 問題24 】は、明治32年(1899年)8月に発生した別子大水害で流出しました。(写真右手前)



(問題25)

伊庭貞剛は、明治23年(1890年)の第1回衆議院議員選挙において、【 問題25 】県選出の衆議院議員に選出されました。

(問題26)

多喜浜塩田のうち、西条藩の直営の塩田は【 問題26 】塩田です。

(問題27)

多喜浜塩田は、塩業整備臨時措置法 第【 問題27 】次塩業整備令により、昭和34年(1959年)に多喜浜5浜がすべて廃田し、幕を下ろしました。

(問題28)

多喜浜塩田の開祖である深尾権太輔の死後、法要にあたり、墓碑と頌徳碑「塩田永潤徳」が建てられた寺の名称を書いてください。

(問題29)

猿田彦命を祭神とし、多喜浜塩田の久具山山頂から社地を楠崎に選び、現在地に移転した神社の名称を書いてください。

(問題30)

黒島1番地にある【 問題30 】では、かつて「石炭問屋」を営んでおり、塩釜燃料として使用されていた石炭を扱っていました。

(問題31)

「この濱を拓きし人の面影を 語り伝えや松よ蘇鉄よ」
この歌を詠んだ人物の名前を書いてください。

(問題32)

人力で海水を汲み上げる揚浜式塩田に対して、潮の干満差を利用した、多喜浜塩田で主に活用された製塩法を何というでしょう。

(問題33)

西条藩主松平家と天野家を中心とする個人所有の塩田を合わせて、明治26年(1893年)に設立された、藤田達芳を社長とする株式会社の名称を書いてください。

(問題34)

昭和30年ごろの多喜浜塩田では、流下盤と【 問題34 】を合わせた流下式塩田が導入されました。

(問題35)

塩田で、海水をかけた入替土をすき起こす際に使う道具で、入替土の乾燥を良くするため、決められた方向に丁寧にすき起こすと、写真のような芸術的な模様が描かれます。万鋤とも呼ばれ、この作業工程と同じ名前のこの道具を何というでしょう。



(問題36)

JR 新居浜駅前の賑わいの創出と芸術文化の創造拠点として、平成27年(2015年)に開館した「あかがねミュージアム」には、3つのコンセプトがありますが、「創る」「学ぶ」ともう1つは何でしょう。

(問題37)

森林公園ゆらぎの森の園内にあるパーゴラ(藤棚)は、ドームの直径が【 問題37 】mあり、ドーム型藤棚としては日本最大級とされ、ゆらぎの森のシンボルとなっています。

(問題38)

愛媛県総合科学博物館は、自然や科学技術に対する理解を楽しみながら深めるとともに、東予地域において生涯学習の情報や機会を提供する施設として建設され、平成6年(1994年)に開館しました。館内には、「自然館」【 問題38 】「産業館」の3つの常設展示室があります。

(問題39)

一宮神社に祀られている狸で、慈眼寺の和尚に化けて大阪に船で渡った狸の名前を書いてください。

(問題40)

室町時代から江戸時代中期にかけて完成し、太鼓だけのリズムに合わせて手足を動かす、船木地区に伝わる雨乞いの踊りの名称を書いてください。

(問題41)

新居浜市の無形民俗文化財に指定されている大島のとうどおくりでは、正月のしめ飾りや竹、ワラなどを円錐形に積み上げ、高さ10mもある「とうど」を作ります。「とうど」には【 問題41 】と書かれた幟が連なります。

(問題42)

この地方には古くからの伝統として嫁入りをする時、米菓子を持っていく習慣がありますが、この習慣に込められている親の願いは何でしょう。

(問題43)

いもだきは、江戸時代の【 問題43 】と呼ばれる親睦行事が、具体的な起源とされています。

(問題44)

別子銅山で発生する排ガスによる煙害を解決するため、亜硫酸ガスから過磷酸石灰(肥料)を製造することを目的に、大正2年に設立された【 問題44 】ですが、現在ではメチオニンなど、持続可能な社会に貢献する製品を数多く生産しています。

(問題45)

住友金属鉱山株式会社で生産される【 問題45 】は、ステンレスを代表とする特殊鋼をはじめ、化学・エネルギー・航空宇宙産業などの日本の最先端技術、特に電子産業を支える素材として欠くことのできない重要な金属です。

(問題46)

「武蔵野に秋風吹けば故郷の 新居の郡の芋をしぞ思う」
この歌を詠んだ人物の名前を書いてください。

(問題47)

「この銅山を神とし仰ぎ幾代かも 掘りつぎて来しことの畏こさ」
この歌を詠んだ人物の名前を書いてください。

(問題48)

十河信二は、71歳にして国鉄4代目総裁に就任した後、【 問題48 】の建設実現に尽力し、新幹線の父と呼ばれています。

(問題49)

立川山村に生まれ、小足谷尋常高等小学校を卒業後、明治23年(1890年)に立川住友分店に勤め、その後神戸製鋼所の初代支配人となった人物の名前を書いてください。

(問題50)

Aは、昭和6年3月に【 問題50 】として建築されました。その後、国民生活金融公庫として使われた時代もありますが、昭和43年(1968年)に「マナベ小児科」に引き継がれました。

A

